

- 金沢河川国道事務所は、石川県立羽咋工業高等学校の生徒を対象に、「令和6年能登半島地震」で被害を受けた、のと里山海道の復旧工事現場で現場見学会を開催しました。
- 見学会では、工事を請け負っている(株)豊蔵組の協力のもと、復旧工事(崩壊土砂の掘削)の内容や現場でのさまざまな工夫について説明を行い、生徒たちは建設機械の試乗体験等を通して、災害復旧を担う土木技術者の仕事について理解を深めました。

- ・日 時: 令和8年7月2日(木) 9:40~10:50
- ・場 所: 能越自動車道(のと里山海道) 横田IC
- ・工事受注者: (株)豊蔵組
- ・参加者: 石川県立羽咋工業高等学校  
建設デザイン科の生徒約40名
- ・内容:
  - ①事業・現場等の説明
  - ②工事概要、ICT活用工事の説明
  - ③建設ディレクター※1の仕事について
  - ④ICT建機の試乗・機能説明
  - ⑤チルトローテーターバックホウの試乗・機能説明
  - ⑥測量機(LS・LRTK・GT)の説明、GTの実体験

※1: ITスキルとコミュニケーション力を活かして、施工管理技術者の書類作成や工程管理補助などを担い、オフィスから建設現場を支援する新しい職種

## 集合写真



## 工事現場の様子



## 工事概要等の説明



## ICT建機の試乗



## チルトローテーター※2の説明

※2: バケットを360度回転させつつ左右に傾けられるアタッチメント

